

平成26年度 第3回旭市国土強靱化地域計画検討委員会

会 議 録

開催日時：平成26年12月1日（月）

午後1：25～2：55

開催場所：南分館3階会議室

○ 出席者

《委員》

中林 一樹 委員	出	丸山 喜久 委員	出	小嶋 卓 委員	出
飯田 登起夫 委員	出	八木 雅之 委員	出	伊東 諒 委員	出
阿天坊 精市郎 委員	出	安藤 政平 委員	出	遠藤 保明 委員	出
小島 勝夫 委員	出	米本 壽一 委員	出	新行内 正巳 委員	出
向 後 充 委員	出	瀬戸 太郎 委員	出	内田 文雄 委員	欠
松田 善典 委員	出				

代理出席

内田委員代理：千葉県 防災危機管理部 防災政策課 山本班長

《事務局》

旭市：（企画政策課）小倉副主幹・伊知地副主査・芳野主任主事
（総務課）江戸副主査

○ 資料

- ・ 次第
- ・ 旭市国土強靱化地域計画検討委員会委員名簿
- ・ 資料 1-1 旭市国土強靱化地域計画骨子（案）
- ・ 資料 1-2 （別紙1）プログラムごとの脆弱性評価結果
- ・ 資料 1-3 （別紙2）施策分野ごとの脆弱性評価結果
- ・ 資料 1-4 （別紙3）各プログラムの推進方針
- ・ 参考 1 第2回旭市国土強靱化地域計画検討委員会 会議録
- ・ 参考 2 脆弱性評価の結果

○ 会議内容

1 開会

(1) 地区懇談会における国土強靱化地域計画に対する住民意見等の報告

事務局：前回の検討委員会で、地区懇談会における国土強靱化の概要及び旭市国土強靱化地域計画策定方針についての意見等につきまして、途中経過を報告させていただきましたが、10月29日の飯岡地区での開催においても、意見等がありましたので報告いたします。飯岡地区は東日本大震災で津波により多大な被害があった地域であり、国土強靱化について関心が高い地域でした。

主な意見としては、計画策定の進捗状況についての質問があり、STEP1の目標の明確化、STEP2のリスクシナリオ・強靱化施策分野の設定を終え、STEP3の脆弱性の分析・評価、課題の検討を進めている旨回答しました。また、国土強靱化の取り組みとして、いいおか荘に開設された防災資料館や、高台への避難ルートとして観光遊歩道を活用してみてもいいかとの意見があり、ソフト対策として非常に重要である旨回答しております。このほか、国土強靱化に係るものとして、防災対策に関する意見や要望がありました。

また、11月11日に飯岡地区の民生委員児童委員連絡協議会(参加者23名)において国土強靱化地域計画の説明をさせていただき、飯岡地区の災害対策に係る質問や意見交換がありました。

(2) 委員長あいさつ

前回の検討委員会においては脆弱性評価結果の報告があり、リスクへの対応方針や地域計画骨子(案)について検討し、皆様から様々な意見をいただきました。本日はそれら意見を踏まえ庁内推進会議でまとめた骨子(案)についての検討となります。

さて、最近は自然災害が多く、11月22日には長野県で最大震度6弱の地震が発生しました。幸いにして死者は無かったということですが、地域住民の連携がよく取れていたとの報道もあり、旭市の地域計画についてもコミュニティの連携を十分加味して進めていけばよいと感じました。

先ほど事務局から地区懇談会等の報告がありました。市民にも関心を持っている方が多数おり、私のところへも幾つか意見があったので紹介し

ます。検討中の計画では、旭市は首都圏への食料供給基地という位置付けがされているが、東日本大震災では農業用水パイプラインの被害が多かったためその対応をお願いしたいという意見。現在整備に向けて準備が進んでいる海岸減災林について、遊歩道の設置等地域に親しまれるよう整備して欲しいという意見。また、千葉から鹿島まで敷設されているガスパイプラインを工業団地へ分岐し、地方創生も絡めて特色ある工業団地への企業誘致や雇用創出につなげられないかという意見がありました。反映すべきものがあればしていきたいと思います。

本日の骨子（案）の検討では皆様から多くのご意見等をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

2 議事

(1) 旭市国土強靱化地域計画骨子（案）について

委員長：議事（1）旭市国土強靱化地域計画骨子（案）について事務局より説明をお願いします。

－ 事務局 資料1-1から資料1-4に基づき説明 －

委員長：ただいまの説明について質問や意見はありますか。

米本委員：最悪の事態を想定したリスクシナリオ28項目から10項目の重点化プログラムを選定したということだが、リスクシナリオという表記とプログラムという表記の使い分けはあるか。あるのであれば読む側が分かりやすいようにしてもらいたい。

事務局：脆弱性評価を実施するにあたり、起きてはならない最悪の事態として28のリスクシナリオを設定しました。その後、脆弱性評価の結果を踏まえたリスクシナリオを回避するための施策群を示す呼び方としてプログラムと表記しています。

八木委員：重点化すべき10項目は市がすぐに取り掛かるべきものという認識でよいか。

事務局：あらゆるリスクを想定し、現在市がやっていることできることを考えた上で、先ずどれをやれば効果的かを考え選定された10項目です。

八木委員：リスクシナリオ28項目から重点化10項目を絞ったが、これで正しいのかどうか分からない。事前に備えるべき目標4の「大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する」か

らは重点化項目がない。5－2や6－3の交通ネットワークが残り、「4－1電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止」や「6－1上水道等の長期間にわたる供給停止」のような重要だと考えられるものが外れたのはなぜか。

事務局：八木委員が感じたことは、作業を進める中で私達も感じました。例えば、私達は情報伝達が非常に重要と考えていましたが、東日本大震災以降は情報伝達手段の整備が進み、今後対応すべきことが少なくなるので重点化すべき評価としては下がります。また、水道も非常に重要ですが、上水道の耐震化には莫大な費用や長期間を要することから優先度が下がります。このようなことから、すぐ取り組んで効果が出そうなものが重点化すべきプログラムとして選出されています。

八木委員：28項目はどれも重要だが、投資効果が高く早く現れるものとして重点化すべき10項目が浮かび上がったということか。

事務局：そうです。また、電力供給を例とすれば、役割として市ができるものが限られるので重要度が下がるといった場合もあります。

小島委員：重点化項目に「3－2市役所本庁舎の倒壊等による災害対策機能の停止、行政機能の大幅な低下」が入っているが、現状でもデータのバックアップや災害対策本部等の機能を耐震性が高い建物に移す等の対応ができるのではないか。

事務局：データサーバーは耐震性のある海上支所にありますし、現在も、本庁舎が使用できなくなった場合の代替施設は考慮しておりますが、建設が予定されている新庁舎に防災対策機能を持たせようということで重点化項目としています。

瀬戸委員：横断的施策分野の少子高齢化対策については全国的にも重要であり、本地域計画で防災・減災・危機管理と連携させて検討するのは旭市の姿勢の現れと考える。少子高齢化を前提とした状況では、高齢者等への判りやすい情報伝達の仕方、若年者が少ない中での要支援者への支援の仕方は様々と考えられるが、担当部局で苦勞していることや課題として挙げたものはあるか。また、防災の視点から、高齢者の火災等の災害への対応能力、避難所の整備・運営、さらには全体をコーディネートする機能や役割について課題となっているものがあれば教えていただきたい。

事務局：災害時の要支援者に関係することと思いますが、現在の情報伝達手段としては、防災無線（屋外スピーカ、個別受信機）、電光掲示板、津波標識、携帯電話のエリアメール、学校放送等の様々な対象者に

対応した伝達方法を整備しています。高齢の方や障害がある方などは他の方々と共同で避難生活を送ることは難しいので、市内6箇所の施設と協定を結び福祉避難所として指定しています。課題としては災害対策基本法の改正により義務付けされた要支援者台帳の更新があり、旭市でも作成したが更新頻度等の課題があります。

瀬戸委員：少子高齢化対策の記述は内容が膨らむ要素があるのかなと感じた。今言われたような課題等も踏まえ今後の検討の中で充実していただければと思う。

伊東委員：検討委員会の役目についてであるが、委員長のあいさつでも挙がっていたが骨子（案）にも個別案件に近いようなものが加わってきている。検討委員会では個々の案件まで検討するのは時間的にも難しいと考えられるが、住民等の進むべき方向性を導くための計画について検討するというところでよいか。

事務局：検討委員会での意見は可能な限り対応したいと考えています。骨子（案）では主に推進方針までの記載ですが、今後整理する推進計画の中でより具体的な事業が出てきます。この事業の中から効果の高いものから実施し、また、PDCAを回す中で見直していきます。

飯田委員：この地域計画は住民に広く知ってもらった方がよいと思う。先日は民生委員児童委員連絡協議会の地区毎の定例会で説明いただいた。地域計画が完成したら全体会議でも説明いただき広く知ってもらおうと考えている。

中林委員：資料1-1のP9「施策分野の推進方針」の箇条書き末尾に市の担当課が記載されているが、国土強靱化計画で目指すのは役所が全部進める計画ではないということ。推進に重要なのは民間の取り組みだと考える。P17の「4 国、県、周辺自治体及び民間事業者等との連携」に「市民」と記載して欲しい。市民・企業・行政が連携して一体となって取り組んでいくことが基本的な姿勢であり、これなくして強靱化は成しえない。資料1-4の推進方針を見ると分かるが、行政がやるべきことも多くあるが、民間や市民がやるべきことも記載されている。地域計画を役所の取り組みと市民に受け取られてしまうと非常にやり難く、個々の要望ばかりが挙がり收拾がつかなくなる。市・企業・市民の役割をきちんと位置付け、どういう体制で今後進めていくのが2年目で重要な課題となる。必要であれば強靱化推進協議会のような形で企業や市民に加わってもらい見直しする。見直しの中で重点項目が入れ替わってもいいと思う。できることからやるという柔軟なスタンスが大事なのかなと思う。

事務局：いただいた意見に留意して策定し、策定後の見直しにも反映していきたいと思います。

中林委員：P 17の「4 国、県、周辺自治体及び民間事業者等との連携」にも関連するが、旭市の地域計画の特徴としてP 3の「旭市が担う国土強靱化の役割」が3つ挙げられている。1つ目の「東日本大震災の被災経験・・・」は市・市民・企業が力を合わせて進めようということ。2つ目の「旭中央病院が担う・・・」は旭市のみならず近隣の自治体が連携してできること。病院は旭市にあるが、有効に機能させるためには広域ネットワークが必要。千葉県北東部の自治体が連携して考えていく課題であり、近隣病院にも協力をお願いすべきこと。3つ目の「首都圏への食料供給・・・」は首都圏全体に対するもので輸送ネットワークが必要。9都県市をネットワークで結ぶような形も考えられる。このように①旭市、②旭市の周辺、③首都圏という3つのイメージで強靱化を考えることはすばらしい。それぞれの見直しをする際には、全部一緒にするのではなく、それぞれの協議・連携の場があってもいいと考える。

飯田委員：資料1-4のP 6「5-3食料等の安定供給の停滞」について、農業産出額千葉県内第1位と言われているが、高齢化や後継者対策が課題であり、対応していかなければ首都圏への食料供給が難しくなるのではないかと考える。これは旭市だけで解決できる問題ではない。このような意見があることを文言として付け加えられないか。大規模化している農家もあるが外国人を使っているところが多い。

瀬戸委員：飯田委員の意見は、先ほど申し上げた少子高齢化のふくらみの要素の一つだと思う。また、農業もそうだが中央病院をはじめ病院も、さらには例えば環境分野では災害廃棄物処理も旭市だけで解決する問題ではなく、隣接市町村との役割分担もあると思う。実効性のあるものとしてまとめていく中では更なる調整が関係機関との間で必要になるかもしれないが記載していただければと思う。共通的な問題として国へ投げかけるものがあれば積極的に投げかけていただきたい。

伊東委員：違う視点で見た場合大規模は弱点とも考えられる。平時はよいかもしれないが、何か起きたときには一度にだめになることもあり得る。こういう視点も取り入れて欲しい。

中林委員：伊東委員の意見は国の懇談会でもいつも出てくる。レジリエントな地域は規模も含めていかに多様性を持っているかということ。有事の際は平時とは違うかもしれないという発想は大事だと思う。

瀬戸委員：重要業績指標について独自に検討されたものも含め丁寧に現状値を把握しているが、他団体へのアピールを含め、項目や数値を集めるにあたって苦勞したことや工夫したことがあれば伺いたい。

事務局：脆弱性評価を実施する中で、始めにリスクシナリオ毎に各課でどのような事業を実施しているか調査しました。その中で事業の進捗を説明できるような指標を出してもらい、それで現在掲載されている項目の3分の1程度が集まりました。その後、脆弱性評価の結果に対応できるような指標を各課に照会し、それで集まったものを追加して現在のような数になりました。指標として判断が難しいものとして、例えば道路事業では分母が決まらないものがあり、整備率の代わりに路線数や供用延長を記載しているものもあります。また、重要業績指標としてこれでいいのかどうか分からないものもあり、来年度以降の進捗調査をやって判断したいと考えています。現状ではできるだけ多くのものを出し、来年度以降最適化していければと思っています。

(2) 質疑及び意見交換

委員長：議事(2) 質疑及び意見交換として何かありますか。

中林委員：12月中にパブリックコメントを実施するとのことだが、パブリックコメントの資料はどれか。また、参考資料2は出すのか。

事務局：本日の資料1-1から資料1-4です。参考資料2はパブリックコメントを行わず、ホームページで公表する予定です。

中林委員：別出しでよいので28項目の一覧表は出した方がよい。箇条書きでは理解し難い。毎年度の見直しを含めパブリックコメント後の計画策定スケジュールも掲載した方がよいと思う。

委員長：このほか特になければこれで議事を終了します。長時間に渡り貴重なご意見ありがとうございました。

3 その他

事務局：次回の第4回旭市国土強靱化地域計画検討委員会は、2月頃開催したいと考えております。日程については調整し後日ご案内申し上げます。

4 閉会